

# 令和5年度奈良県コミュニティ・スクール研修会【市町村立学校(園)】実施報告

- 《日 時》 令和5年8月25日(金) 14:00~16:30  
 《場 所》 県立教育研究所 中講座室I(講演はZoomによるオンライン形式で実施)  
 《参 加》 「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を導入している市町村立学校(園)の管理職、地域連携担当教職員 計62名  
 《内 容》 14:00~14:05 開会  
 14:05~15:20 講演「学校運営協議会の効果的な運営について」  
 文部科学省CSマイスター 安齋 宏之 氏  
 (ふくしま学校と地域の未来研究所 代表)  
 15:25~16:10 情報交換・意見交流  
 「テーマに沿った熟議体験」  
 16:10~16:25 全体共有  
 16:25~16:30 閉会

## ◆講演概要

「学校運営協議会の効果的な運営について」と題し、自身の経験から具体的な事例を紹介し、学校・地域・家庭が価値ある目標を設定・共有するために重要である熟議の具体的な進め方やポイントなどについて御講演いただいた。

### 【効果的な運営について】

- どのような学校にしたいか、どのような児童生徒を育成したいか等について「協議する場」が学校運営協議会である。
- 学校運営協議会委員には、学校や子どもへの関心が高く、校長が描くビジョンを達成するために協働してくれる人を、幅広い年代や多様な立場の方から選出することが重要である。
- 学校・地域・家庭が十分な熟議を行うことにより教育目標を設定するプロセスを共有していくことが、それぞれの立場における子どもたちへの教育に対する当事者意識や協働して子どもたちを育てる意識を高めることにつながる。
- 学校・地域・家庭が共有した目標を反映した地域学校協働活動を行うことにより、連携・協働していくことが大切である。
- 学校関係者評価の結果を、改善策の見直しや次年度の学校経営ビジョン、教育課程への反映に活用することが、コミュニティ・スクールに対する地域住民の理解促進と参画意識の高揚につながる。

### 【熟議について】

- 熟議とは、多くの当事者(教職員・地域住民・保護者等)による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話のことである。
- 熟議を繰り返すことで当事者意識が高まり、相互理解と信頼関係が深まっていく。
- 話し合うテーマや解決すべき課題によって参集範囲を決定するとよい。
- テーマ設定は、「学校が課題としていることを理解してもらい、解決するため」という視点を中心に、保護者・地域住民・子ども等からの提案を加味し、事務局等で事前協議をして決定するとよい。
- 熟議により出た様々なアイデアを具体的な取組に発展させるために、「効果が期待できるか」「取り組みやすさはどうか」「誰が取り組むのか」という視点より、実現性と実効性を考えて具現化に進むとよい。また、「誰が取り組むのか」という視点で熟議を行うことで、「学校が行うこと」「地域が行うこと」「家庭が行うこと」「学校・地域・家庭が協働して行うこと」が明確になり、きっちりと役割分担をした上で子どもたちに関わる取組を行うことができる。

### (3) 「対話と信頼に基づく学校経営」の基礎

- ① 共有できる価値ある目標の設定  
保護者や地域住民と目標やビジョンを共有し、大切にすべきことを明確にする。
- ② 保護者・地域住民の当事者意識、教職員の協働意識の高揚  
問題の根拠に保護者や地域住民の当事者意識の低下がある。一方で、教職員の協働意識が低いことも解決を困難にしている。
- ③ 合意形成の場、連携・協働の場の設置  
保護者・地域住民との対話が十分なまま行われる取組が、学校の独り相環となり、信頼関係を損ねるケースも散見される。対話により合意を形成する場、合意を生かして連携・協働する場が必要。
- ④ 学校評価の活用  
学校評価を学校・家庭・地域間のコミュニケーションツールとして活用することで、学校への理解が深まり、参画意識が高まる。特に、学校関係者評価を適切に行うことは、学校への信頼を高める。



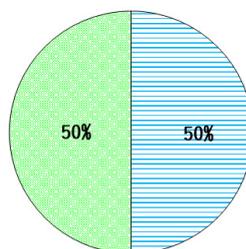
## ◆情報交換・意見交流と全体共有

13のグループに分かれ、「熟議により共通のビジョンを設定・共有するために重要なこと」について、自校の学校運営協議会の熟議における課題や困り事と安齋氏の講演より新たに気がついたこと等を基に、グループで情報交換・意見交流を行った。その後、代表者がグループで出た意見を発表する形で全体共有を行った。

### 《参加者の感想》

- 学校運営協議会をよりよく進めていくための具体的な方法について学ぶことができた。どのように実践していくのかを学校に持ち帰り考えていきたい。
- 多くの当事者によって、熟慮と議論を重ねながら課題解決を目指す対話の大切さを改めて理解することができた。本校はまだ熟議まで到達していないが、目指すところが明確になった。
- 講演を聴くことで、自校の課題がより明確になった。熟議の在り方から検討していきたい。

コミュニティ・スクールを充実させるための重要なポイントが理解できましたか。



- よく理解できた
- 理解できた
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった